

イチオシ!

M MOVIE

『アリ地獄のような街』

農村から大都会ダッカへ足を踏み入れた少年が、ストリートチルドレンとなって生きる中でいや応なしに悪事に荷担し、ダッカの闇の世界に落ちていってしまう。決して逃れることのできない“アリ地獄”のようなダッカの現実を描いている。制作は、バングラデシュでストリートチルドレンの保護活動を行うNGOエクマトラ。子どもたちが置かれる厳しい現実を伝えることで、社会全体がこの問題に目を向けるきっかけをつくりたいと、4年前にこの映画を企画した。主人公を演じるのは、実際にストリートチルドレンだった少年。収益はストリートチルドレンの自立支援センターの建設費に充てられる。



映画「アリ地獄のような街」より

2009年／バングラデシュ／79分
監督：シュボシシュ・ロイ(エクマトラ代表)
製作：エクマトラ
公開：11月7日(土)～20日(金) シネマ・ジャック&ベティ(横浜)で上映
URL：<http://www.arijigoku.net/>

E VENT

セバスチャン・サルガド「アフリカ」展 生けとし生けるものの未来へ

フォト・ドキュメンタリーの先駆者であるセバスチャン・サルガドの写真展。最新作を含む約100点の作品を通じて、「見捨てられた大陸」と呼ばれるアフリカの現状に迫る。また、11月7日(土)14時からは、JICA地球案内人の小中隆文氏が「アフリカのお話」と題して講演。

会期：10月24日(土)～12月13日(日)(月曜日は休館)
会場：東京都写真美術館2階展示室
料金：一般800円、学生700円、中高生・65歳以上600円
TEL：03-3280-0099
<http://www.syabi.com/details/sarugado>

B BOOK

『日本人という生き方』

「野球は人を動かす魅力を持っている」。元中学教師の著者は、野球を通じた国際貢献をしたいと、8回目の挑戦で青年海外協力隊員に合格し、アフリカ大陸・ウガンダに赴任。文化も習慣も違う異国の地で、“日本の”野球を教えながら子どもたちと向き合っていく。そして、日本とウガンダの少年野球チームの親善試合を札幌ドームで実現させた。異文化の交流の中で彼が感じたのは、日本という国の素晴らしさと日本人であることの誇り。本書は、「日本人という生き方」を問い掛ける。



この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

小田島 裕一 著
イチエス
1,500円(税込)

B BOOK

『キリマンジャロの雪が消えていく —アフリカ環境報告』

アフリカというと、大草原を動物が走り回るスケールの大きな自然を思い浮かべる人が多いだろう。しかし今、アフリカの自然環境は急速に悪化している。その象徴が、頂上の氷雪が消えようとしているキリマンジャロだ。本書は30年にわたって環境問題を研究し、現在、環境ジャーナリストとして活躍する著者による最新レポート。増え続ける人口の脅威、アフリカの天然資源に群がる世界中の国々、多発する自然災害、野生動物が食料として食べられてしまう現実など、衝撃的な事実が次々と浮かび上がる。著者は「アフリカは人類のふるさとであり、アフリカの破綻は世界の破綻を意味する」と警告する。



この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

石 弘之 著
岩波書店
819円(税込)